

〔国際会議発表〕

発表研究者	新潟県立看護大学 看護学部看護学科 准教授 永吉 雅人	2042113
参加会議	2014 International Conference on Neural Information Processing (ICONIP 2014)	
出張期間	2014年11月1日～11月7日	
開催場所	クチン マレーシア	
発表論文	An Entropy-Guided Co-construction Adaptive Method of State and Action Spaces in Reinforcement Learning 強化学習における状態・行動空間のエントロピー駆動型適応的共構成法	

概要：

本国際会議（ICONIP）では、例年、生理、心理、理工学の学際分野における神経科学、脳の情報処理、ニューロコンピューティング技術、ハードウェアなどの発表が行われており、機械学習の一つである強化学習についてもハイレベルな研究者が参加している。

私はこれまでに、機械学習の一つである強化学習において、状態空間と行動空間の自律的共構成法の確立を試みてきた。そこで、これまでの研究成果を多くのレベルの高い研究者に知ってもらうこと、さらにそうした研究者と議論することで、今後の強化学習研究を発展するためのヒントを得ることを今回の国際会議に参加する目的とした。また、聴講者として最新の研究発表を聴講し、今後の研究のための情報収集を行うことも目的の一つとした。

この国際会議では、事前に座長の依頼を受け、20分間の自分の研究発表を含めて座長を2時間行った。多くの研究者に聴講してもらうことで、情報発信をすることができたと考えられる。また、座長を務めたセッション内において多くの研究者と議論をすることで、今後のためのヒントを得ることができた。さらに、多くの発表を聴講することで、今後のための情報収集を行うことができた。